

149号 2014.11

パソコン用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/>

携帯電話用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/opw1/IMD/IMDMAIN.CSP>

携帯用QRコード→



知っていますか？

おはなし会



川口市立図書館では、子ども向けの催し物として、定期的に「おはなし会」を開催しています。

「おはなし会」では、図書館職員と地域のボランティアが読み手（語り手）となり、絵本の読み聞かせやストーリーリング（本を見ずに昔話などを語る）をおこなっています。おはなし会に参加することで、子どもたちが物語の楽しさを知り、本を楽しむきっかけとなって欲しいと考えています。

対象年齢や開催日時は図書館によって異なりますので、それぞれの図書館にお問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。（事前の申し込みは必要ありません）

また、ホームページでも紹介していますので、そちらもご覧ください。

夏休みやクリスマス時期には、季節のおはなしを楽しめる特別おはなし会も開催しています。

※今年の「クリスマスおはなし会」については、本紙裏面のお知らせをご覧ください。



おはなし会の最後には、誕生月の子にろうそくの火を消してもらっています。



その日に読んだ本を借りることもできます。気に入った本があったら、ぜひおうちでも楽しんでください。

♪ある日の中央図書館のプログラム♪

ちゅうおうとしよかん おはなし会
～プログラム～

9月20日（土）

ちいさい子（4さいから）
ここ 2時30分～2時50分

おはなし

- ♪ ひなどりとネコ
- えほん
- ☆ くいしんぼさんのうた
- ☆ ぐりとぐら

小学生
ここ 3時～3時30分

おはなし

- ♪ 地藏浄土
- ♪ はらべこびエトリン
- えほん
- ☆ つきのぼうや

本の道案内

このコーナーでは、図書館員がおすすめする本をご紹介します。
読む本に迷ったときは、是非参考にしてみてください。
思わぬ発見があるかもしれません。

『印象派切手絵画館』

江村清／著 日本郵趣出版 2014年刊 NDC 723.0

名画切手とは、郵便切手のデザインとして、巨匠たちの名画を取り上げたものです。本書は、19世紀フランスで活躍した、印象派およびポスト印象派と呼ばれる画家から14人を選び、名画切手により、その画家の魅力を紹介しています。

一般の美術書とはひと味違う、新しいアート本で印象派名画の数々をお楽しみ下さい。

メディアセブン 特別上映会のお知らせ 「絹から始まった産業革命 北関東の近代化遺産」

年末に貴重な世界遺産を鮮明に記録した映像の上映会を開催いたします。年の瀬のお忙しい合間に、メディアセブンの上映会で一息つきませんか？

今回は、明治時代の製糸業の集約地、群馬県の近代化遺産（建築・建造物）を美しい映像でご紹介します。2014年6月に世界文化遺産に認定された旧官営富岡製糸場（富岡市）や旧碓氷社本社事務所（安中市）、旧碓氷峠鉄道施設（松井田町）などです。当時の日本の絹産業や文化、富岡製糸場などについて、フリーライターの熊谷充晃さんからお話いただくトークイベント（有料）も開催しますので、合わせてお楽しみください。

上映作品：『絹から始まった産業革命 北関東の近代化遺産』（上映時間 46分）

日時：2014年12月 7日（日）14:00～
12月18日（木）18:00～
12月23日（火）14:00～

会場：メディアセブン プレゼンテーションスタジオ

定員：100名 入場無料

対象：どなたでも

☆関連トークイベント☆

熊谷充晃「明治のニッポン～富岡製糸場と絹産業遺産群」

開催日時：2014年12月18日（木）19:00～21:00

会場：メディアセブンワークスタジオB

定員：40名 ※申込先着順 参加費：500円

対象：どなたでも



詳細はメディアセブンまでお問い合わせください。
メディアセブン TEL：048-227-7622

『127人が選んだわたしの好きな育児書』

＜月刊クーヨン＞編集部／編 クレヨンハウス 2013年刊 NDC 599

「月刊クーヨン」の特集記事に加筆、単行本化した本。
奮闘する自分に“大丈夫”と言ってくれる本あり、笑い飛ばしてスッパリできる本あり。

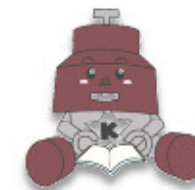
小児科医の毛利子来さんは、インタビューの中で「子育てでもっとも頼りになるのは、本より親同士のおしゃべり」とも言っています。我が家は、そのどの方法にも助けてもらいました。

『ヴェネツィアの宿』

須賀敦子／著 白水社 2001年刊 NDC 914.6

疲れ果ててたどり着いたヴェネツィアの宿で、窓の外から流れ込んできたオペラの演奏がしっとりと自分自身を包み込む——イタリア文学者である著者が、イタリアでの暮らしや旅、日本での少女時代の思い出などを回想に留まることなく見事に再構築した作品です。12篇のエッセイを通じて、底辺に流れる父と娘の葛藤と絆が胸を打つ。

「わたしの今年の一冊」 をご紹介します！



図書館では毎年恒例となりました「わたしの今年の一冊」の募集を行います。今年お読みになった本の中で、「心に残った一冊」をご紹介します。

ご応募いただいた中から選定の上、『図書館だより150号』（平成27年3月頃発行予定）に掲載させていただきます。

★募集期間：平成26年12月1日（月）～28日（日）

★募集対象：絵本・マンガを除く図書 ※雑誌は不可

★応募方法：各館備え付けの所定のアンケート用紙に記入し、館内の専用応募箱に投函してください。または、川口市立図書館ホームページに掲載する「わたしの今年の一冊」専用フォームから投稿してください。
(アンケート用紙および投稿フォームは、12月1日（月）から設置いたします。)



※『図書館だより』掲載につきましては、紙面の関係でご紹介できない場合や、図書館側で文面等を一部編集（変更や省略を含む）のうえ掲載させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。